

年末手当3.5ヶ月分要求！

社員の努力に報いるためにも要求に応えよ！

本部は10月9日、「申第10号」2015年度年末手当支給に関する申し入れを提出し、年末手当3.5ヶ月分を要求しました。

JR東海の平成27年度第1四半期の決算は単体の経常利益が1,361億円（前年同期比18.5%増）となりました。これは現場の社員の計り知れない労苦によってなし得た利益です。さらに、ゴールデンウィーク輸送、夏季輸送、シルバーウィーク輸送を含めた旅客の利用状況からして、第2四半期の決算は史上最高となることは間違いないと考えます。

これらの利益は、慢性的に不足している要員状況の中で、社員が好まなくとも休日出勤をさせられたり、年休を抑制されたりしながらも会社に協力して安全、安定輸送を支えたがゆえに得られた利益です。

破格な利益があるにもかかわらず、昨年末の期末手当を抑え、ベースアップも抑え、はたして現場の社員はいつ報われるのでしょうか。もし中央リニア新幹線建設のための留保があるとしたら、多くの社員が望んでもいないリニア中央新幹線建設よりも、会社が年末手当をどれだけ多く支給するかが関心事なのです。現場の社員の労苦によって稼ぎだした利益を、支給することは当たり前のことです。現場で働く社員なくして会社の存在などありえません。今こそ、会社は要求に応じて3.5ヶ月分の年末手当を支給すべきです。

JR東海労は満額要求に向けて奮闘していきます。

申し入れ内容

1. 年末手当は基準内賃金と補償措置額の3.5ヶ月分とすること。
2. 組合員が納得しない年末手当のカットをやめること。
3. 回答は11月6日（金）までに行うこと。
4. 支払いは12月1日（火）までに行うこと。

ゴールデンウィーク輸送、夏季輸送、シルバーウィーク輸送増で史上最高益が予想される！